

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

公表日:2023年 9月 20日

事業所名:ONE 対象人数(保護者)42人 回答者数 28人 回収 66.7%

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	・スペースを効率よく使用できるようにしております。 ・療育器具(ブランコ等)は取り外しができるようにするなどの工夫をしています。	・人数に合わせたスペースが確保されていると思います。 ・もう少し広ければいいと思います。 はい:19 いいえ:0 どちらでもない:9	・スペースに関しては1人に対しての適切なスペースは確保していますが、子供たちがよりが快適に利用していただくために今後も工夫していきます。
	2 職員の適切な配置	・国の人員配置基準に加え、加算要件を満たす人員配置を行っている。	・手厚く子ども達の面倒を見ていただいていると思います。 はい:23 いいえ:0 どちらでもない:5	・職員の配置につきましては、必要に応じて配置をしていきます。
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備	・子どもたちの状況に応じたバリアフリーは行っている。その都度必要に応じて工夫し、改善を行っている。	・記載なし はい:18 いいえ:0 どちらでもない:10	・今後も子ども達の状況に応じて、環境を整えていきます。
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	・快適に過ごしていただく為に、子ども達が帰った後に消毒液の散布と清掃を毎日行っています。	・記載なし はい:21 いいえ:0 どちらでもない:7	・今後も快適に過ごしていただけるように、清潔な空間を保ってまいります。
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	・会議を毎日持ち、療育内容や指導の在り方を共有・検討しています。		・今後も会議の場以外でも、職員間で振り返りを行い、業務の改善を行います。
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	・第三者の方に依頼をし、業務体制を確認して頂いております。		・定期的に第三者の方に見ていただき、業務改善を実施していきます。
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	・事業所内外での研修に積極程に参加しています。		・今後も積極的に研修に参加出来るように、情報の共有を行ってまいります。
適切な支援の提供	1 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	・保護者の方から聞き取りを行い、それを元に作成をさせて頂いております。	・記載なし はい:25 いいえ:0 どちらでもない:3	・今後も全職員で確認を行い、計画書に沿った支援を実施していきます。
	2 子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	・子どもの状況に応じた個別・集団での活動を項目に入れて作成しております。	・記載なし はい:26 いいえ:0 どちらでもない:2	・今後も子ども達の状況に応じて活動の組み合わせを取り入れてまいります。
	3 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	・児童発達支援管理者が原案を作成し、それを元に会議を行い、支援内容を設定しております。	・記載なし はい:26 いいえ:0 どちらでもない:2	・今後も原案作成後、職員間で会議を行い、適切な支援内容を作っていきます。
適切な支援の提供(続き)	4 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	・支援に関して、個別支援計画書を元に全職員で確認し実施しております。	・記載なし はい:25 いいえ:0 どちらでもない:3	・今後も職員間で確認を徹底し、支援計画に沿った適切な支援を行ってまいります。
	5 チーム全体での活動プログラムの立案	・毎月、全職員にて療育内容の立案・作成をしています。	・記載なし はい:26 いいえ:0 どちらでもない:2	・今後も会議の場を設け、子供たちが楽しく過ごせるようプログラムを作成していきます。
	6 平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	・平日や休日などで療育時間が違いますので、子ども達が見通しを持てるように日課の時間を掲示するなど工夫しております。	・記載なし はい:26 いいえ:0 どちらでもない:2	・子ども達に限られた時間の中で、適切な支援が行えるように曜日や時期に応じた支援を作成し、提供していきます。
	7 活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	・活動プログラムが同じにならないように、変化をつけて行っております。	・記載なし はい:25 いいえ:0 どちらでもない:3	・季節感を感じられるように、活動内容に変化・工夫を行ってまいります。
	8 支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	・毎日、会議で療育内容の確認・職員の仕事分担を行っております。		・今後も会議の場を設けていき、確認を徹底していきます。
	9 支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	・職員間で情報の共有し、課題があれば話し合いを行い、解決を図っております。		・今後も職員間で共有をしっかりと行っていきます。
	10 日々の支援に関する正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	・毎日、支援の記録をひとり一人行い、支援の改善が必要な場合は会議の場を設けています。		・今後も必要に応じて、実施していきます。
	11 定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	・定期的にモニタリングを行い、個別支援計画書の見直しを行っております。		・今後も定期的に見直しを行ってまいります。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
関係機関との連携	1	子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議へり参画	・必要に応じて児童発達支援管理責任者・管理者・担当職員がサービス担当者会議に参加しています。		・今後も必要に応じて会議に参加していきます。
	2	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施	・現在医療的ケアが必要な子供はおられませんが、地域・学校とその都度連携を図っております。		・必要に応じて、地域・学校とその都度連携をしていきます。
	3	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備	・現在医療的ケアが必要な子供はおられませんが、協力医療機関への相談や主治医の確認は行っていますが、コロナの状況もあり医療機関との連携が少なかつたと思います。		・今後も必要に応じて、医療機関と連携を図っていきます。
	4	児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	・主に児童発達支援管理責任者・代表・管理者で行っております。		・今後も円滑な移行支援の為に情報共有を行っていきます。
	5	放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供、	・卒業生になる子がいませんでしたが、連携は行っております。		・卒業後の進路の選択肢が増えるよう関係各所に赴き多くの連携を図っていきます。
	6	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	・研修には、職員全員に積極的に参加するように伝達しております。		・今後も職員全員に研修の情報を共有し、積極的に参加するように伝えていきます。
	7	児等発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供	・今年度は、新型コロナウイルスの状況を鑑み、交流を持つ機会は少なかつたですが、地域で開催されたお祭り等に参加しました。	・コロナの影響で交流はまだ難しいと考えている。 はい:10 いいえ:5 どちらでもない:13	・今後も新型コロナウイルスなどの感染症の状況を見つつ、地域の催しには積極的に参加していきたいと考えております。
	8	事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	・地域の催しの際に、会社全体でスタンプラリーや屋台の出店を行いました。また、全体で歌の練習を行い、ステージで発表を行った。	・記載なし はい:20 いいえ:2 どちらでもない:6	・今後も会社全体として催しを企画し、地域の方との交流を持つ機会を作っていきます。
保護者への説明責任・連携支援	1	支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	・契約の際に説明しております。	・記載なし はい:24 いいえ:1 どちらでもない:3	・今後も丁寧な説明を心掛けていきます。
	2	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	・児童発達支援管理責任者が主に説明を行い、ご理解を頂けるようにしております。	・記載なし はい:22 いいえ:0 どちらでもない:6	・今後も丁寧な説明を心掛け、保護者様と一緒によりよい支援計画を作成していきます。
	3	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	・新型コロナの関係で実施出来ませんでした。	・記載なし はい:13 いいえ:5 どちらでもない:10	・ペアレント・トレーニングには、今後力を入れていきたいと感じています。また、事業所内外で研修会を多く開き、保護者様の支援に繋がるようにしていきます。
	4	子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	・連絡帳とLINE・送迎時の会話でお伝えしております。	・記載なし はい:23 いいえ:1 どちらでもない:4	・LINEや電話・連絡帳などで行っていたものをより繊細に行い、相互理解を今後も高めていきます。
	5	保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	・相談を受けた際には、児童発達支援管理者が中心となり、職員間で話し合い、対応しております。	・記載なし はい:20 いいえ:2 どちらでもない:6	・今後も継続的に強化してまいります。いつでもどんなときでも気軽に相談しやすい環境・関係を築いてまいります。
	6	父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	・今年度保護者会を発足致しました。各施設を利用されている保護者様への参加を促し、意見交換の場を設けました。	・コロナの影響で交流はまだ難しいと考えている。 ・参加した事がない。 はい:14 いいえ:4 どちらでもない:10	・今後も定期的に保護者会等を開催し、情報の共有や保護者様同士の連携を支援していきます。
	7	子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	・苦情などがありましたら、職員全員で解決案を出し、対応しております。	・記載なし はい:18 いいえ:0 どちらでもない:10	・今後もより一層多くのケースを想定した会議を行い、苦情の対象にならぬよう体制を整えらるとともに、苦情の解決方法などもより良い形を模索します。
	8	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	・LINE・電話・紙ベースなどで伝達し、状況に応じて理解しやすい形で情報をお伝えしております。	・記載なし はい:22 いいえ:0 どちらでもない:6	・今後も各ご家庭の状況に応じた形で、情報をお伝えしていきます。
	9	定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	・行事予定表には、日々の活動内容を記載しております。 ・会社HPに毎月2回ブログを掲載しております。	・記載なし はい:22 いいえ:0 どちらでもない:6	・今後も皆様に分かりやすい予定表を作成していきます。 ・今後も子ども達の様子が分かるようにブログの掲載をしていきます。
	10	個人情報の取扱いに対する十分な対応	・個人情報には細心の注意を払い情報漏洩なきようにしております。	・記載なし はい:23 いいえ:0 どちらでもない:5	・今後も個人情報につきまして、研修等を行い、情報漏洩がないように徹底してまいります。
1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	・各マニュアルは作成し、施設内に保管しており、職員間で周知徹底しております。	・記載なし はい:18 いいえ:1 どちらでもない:9	・保護者の方にも周知して頂けるように、定期的に各マニュアルをお手紙等で配布致します。	

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
非常時等の対応	2 非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	・定期的に避難訓練を実施しております。 ・避難訓練などを行う際には、職員が避難場所の確認・避難時の役割分担などを考えて対応出来るようにしております。	記載なし はい:21 いいえ:1 どちらでもない:6	・今後も定期的に災害を想定した避難訓練を実施していきます。
	3 虐待を防止するための職員研修機の確保等の適切な対応	・虐待に関しては、会議の際に検討を行い、職員の研修を行っております。		・社内研修の他に外部研修への参加をしていき、職員間での共有をしていきます。
	4 やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	・拘束を行うケースがありませんでしたが、必ず説明と了解を受けてからの実施を致します。		・身体拘束は行っていませんが、活動について子どもの安全確保のための行動制限に関しては事前に子どもや保護者様に説明し了承を得ていきます。
	5 食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	・食物アレルギーに関しては、会議とおやつケースに記載し全職員が見える状況にして、誤って事故が起きないようにしております。		・今後も職員間で情報の共有を行い、アレルギーに対しての問題にも怠ることなく対応してまいります。
	6 ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	・ヒヤリハットなど、毎日の会議で話し合いを行い、全職員で共有します。		・ヒヤリハットに関しては今後も多くの事例を例題にして全職員から意見を求め支援の方法や対応の方向性の一致を図ります。

◎自由記述による意見

- ・子どもがシートベルトをしているか確認をしてから出発して欲しい(自分でできないから)
- ・送迎連絡をしっかりとしてくれているので安心